

校長室だより

令和4年9月

2学期が始まりました。

思い返せば1年前、夏休みが延長される（冬休み短縮とセットで）通知がされています。時が過ぎるのは早いもので、あっという間でした。この間、県内のコロナウイルス感染者数は、約10倍強に増えてしまっています。引き続き、感染防止対策をしっかりと継続しましょう。

さて、先月末の土曜日に、1・2年保護者対象進路説明会がありました。

その説明会冒頭、Society5.0に関する動画を2つ観てもらったのは他でもありません。生徒の皆さんが活躍する近未来社会が、どのようになると予測されているか、保護者の方と一緒に再確認したかったからです。

今、私たちの職業や働き方、社会の有り様や人の生き方が大きく変わろうとしています。中でも、人工知能の一層の発達とともに、今までは人が担っていた仕事なくなるであろう変化は、私たちの暮らしを劇的に変えることは明らかです。そのような世界が目の前に控えていることに目を向け、しっかりと準備をするための時間を、高校生活の中で積み上げてほしいと願っています。

これからは予測がより困難な時代になると言われていますが、昔も今も、きっと変わらないことがあります。それは、今の延長線上にしか未来はありえないということ。過去・現在・未来が一直線上にある「時間」はタイムマシンでもない限り、一方通行です。だからこそ、心震える感動も地団駄踏むほどの後悔も、人は経験するのではないのでしょうか。

先月の校長室だよりに、素敵なリアルの時間を積み重ねて、この夏を有意義に過ごしていこうと記しました。2学期の毎日も、みんなで丁寧に紡いでいきましょう。